

山口県立きらら浜自然観察公園について

山口県立きらら浜自然観察公園とは

山口県立きらら浜自然観察公園は、野鳥などのたくさんの生き物とその生息環境を守りながら、だれでも身近に自然を観察し、自然に親しむことができる公園として2001年4月27日に開園しました。2006年度から指定管理者制度の導入により、特定非営利活動法人野鳥やまぐちが管理運営を受託しています。

公園設立の経緯

1964年に国営干拓事業として阿知須干拓地が整備され、その後農地として利用されず長い間放置されたため、二次的な自然が再生し、野鳥をはじめ多くの生き物たちの楽園となりました。しかし、1987年から土地の有効利用のため埋め立てが行われ、1998年には北側の一面に30haを残して埋め立てが完了しました。残された30haにはかつての阿知須干拓地に生息していた野鳥を中心とする多様な生態系を保全することを目的として、当公園が整備されました。



開園当初の公園上空写真

渡り鳥の交差点

本州の最西端に位置する山口県は、中国大陸や朝鮮半島にも近く、ロシア東北部やカムチャツカ半島から日本列島を縦断して東南アジアへ渡る鳥たちや、朝鮮半島を経由して日本へやってくる鳥たちの交差点に位置しています。当公園は山口湾に隣接し、周辺の豊かな環境とあいまって多くの野鳥が訪れます。園内で観察された鳥類は2020年10月現在で243種となっています。

園内の環境

公園内には淡水池・ヨシ原・干潟・汽水池・樹林地という5つの自然環境があり、年間を通して様々な生き物を観察することができます。

〈淡水池〉

ギンブナ、チチブなどの淡水魚が生息し、春には多数のトンボ類が発生します。夏には子育てをするカイツブリが観察でき、冬には多くのカモ類で賑わいます。



カイツブリの子育て



《ヨシ原》

淡水泥湿地にはヨシが群生し、初夏には夏鳥のオオヨシキリのさえずりが盛んに聞こえ、冬にはオオジュリン、ツリスガラ、チュウヒなどヨシ原の冬鳥が多く見られます。トンボ類も多数観察でき、絶滅危惧種のベッコウトンボも発生しています。



オオヨシキリ



ベッコウトンボ



《干潟》

潮の満ち引きがあり、様々なカニ類やトビハゼが生息しています。年間を通してサギ類に利用され、春・秋の渡りシーズンには多くのシギ・チドリ類が飛来します。冬には絶滅危惧種のクロツラヘラサギやズグロカモメが採餌する様子が観察できます。



クロツラヘラサギ



ズグロカモメ



《汽水池》

淡水と海水が干潟で混じり合い、汽水となった水が流れ込む池となっています。藻類やプランクトンが多く、海水性の生き物が多く生息しています。

現在、ミニ干潟を造成し、海水を取り入れることで、カニ等の生き物観察やアサリの育成を行う場として改造し、調査・研究が行われています。



《樹林地》

公園周辺に自生している樹木の中から、塩分や潮風に強く、実のなる木 34 種類を選び、約 25,000 本が植栽されています。外からの遮蔽林として園内の環境を守る役割も果たします。

ビジターセンターの利用について

ビジターセンターでは、多くの方が落ち着いて野鳥を観察できるように、固定式のフィールドスコープを30台用意しています。初めての人でも自然観察がすぐに楽しめるように、レンジャー(自然解説指導員)が園内の自然や環境について案内します。

また、園内の映像を映す野外カメラや、干潟とヨシ原のジオラマ、園内に生息する魚類やカニ類などの生き物展示もあり、様々な自然学習に活用できます。



四季折々の自然観察イベント

毎週土曜日・日曜日および祝日には、レンジャーによる園内のミニバードウォッチング、工作教室、紙芝居、ビデオ上映があります。また、毎月1回開催されるバードウォッチング入門やメンバー登録制の子どもレンジャークラブ、その他季節に合わせた様々な自然観察イベントを行っています。



工作教室



紙芝居



バードウォッチング入門



子どもレンジャークラブ



野鳥写真展



トンボ観察会



天体観察教室



夏休み子ども早朝観察会



鳴く虫観察



ふれあいまつり

日本クロツラヘラサギ保護・リハビリセンター開設

2018年度から取り組みを開始した「傷病クロツラヘラサギのリハビリ施設の設置と繁殖地の創出」事業について、公益信託サントリー世界愛鳥基金の助成事業に採択されました。園内の干潟の一面にクロツラヘラサギの保護ケージを設置し、日本で怪我したクロツラヘラサギを引き受け、野生復帰に向けたリハビリを行う計画で、2018年11月には日本クロツラヘラサギ保護・リハビリセンターとして開所式を行いました。今後は園内の干潟を利用してリハビリを行い、希少なクロツラヘラサギを来園者に観察していただくことで、干潟の環境保全の普及、啓発につながることも期待されます。



開所式で行われた日本クロツラヘラサギネットワーク事務局による記念講演と施設の現地見学



日本クロツラヘラサギ保護・リハビリセンター

おわりに

新型コロナウイルス感染予防として、ビジターセンター内の換気や観察道具の消毒を随時実施しています。また、来館者の皆様にはマスクの着用と入館時の手洗い・消毒、3密の回避をお願いしています。

これからも多くの方に当公園を利用していただき、当公園に生息する野鳥を中心とした様々な生き物や自然に親しみを持っていただけるように努めてまいります。どなたでも自然観察を身近に楽しむことができますので、お気軽にご来園ください。